

令和6年度 学校評価 和田小・中学校パワーアッププラン

1 目標・方針

中期的な学校運営の目標・方針	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を生き抜く学力の育成（主体的・対話的で深い学び、自ら学ぶ力） ・豊かな心の育成（人権が大切にされる集団づくり、道徳教育、特別支援教育） ・健やかな体の育成（運動能力、食育・健康教育、安全教育、防災教育） ・地域とともにある学校づくり（和田に誇りを持つ児童の育成） ・働き方改革の推進
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基盤的な学力の定着と「わかった・できた」と実感できる学びの充実 ・思いやりに満ちた人間関係、他者を尊重する態度を養う道徳教育の推進 ・基本的な生活習慣の育成と防災・安全教育の充実 ・地域資源を活用したふるさと教育、キャリア教育の充実

2 自己評価（達成状況 A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善）

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	学校経営	地域資源を活用したふるさと教育	A	ゲストティーチャーのべ146名（昨年度比2.3倍）を招聘。「ミニトライ・やる」を実施。新規に5事業所の協力を得るなど地域と連携した取組を充実させた。→地域協働活動との一体的な推進を図る。
	生徒指導	いじめ・不登校の未然防止	B	朝の健康観察やいじめアンケートのスクリーニングから児童支援担当教員を中心とした組織的な取組を充実させた。→今後も未然防止の取組を充実させる。
教育課程	指導方法の工夫改善	「わかった・できた」と実感できる学びの充実	B	ペア・グループトーク等、対話的な学びを通して、自分の考えを表現することができるようになってきた。→対話を通して学びを深め、表現する場を確保するとともに、基礎基本を定着させる取組の両輪で学習指導を充実させる。
課題教育	人権教育	人権が大切にされる集団づくり	A	異学年集団の活動を核として、自治的な活動、安心できる居場所づくり、互いに認め合う仲間づくりに取り組んだ。→児童のアセスメントを充実させるとともに、全ての教育活動の中で人権教育を推進し、児童の居場所づくり、安心できる学校づくりをめざす。

3 学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせや見守り隊感謝の会など学校を訪れるたびに児童の話聞く態度が良くなってきていることを実感している。今後も心を育む教育を重視した取組を続けてほしい。 ・保護者アンケートの結果概ね良好と評価できるが、学校が保護者にとって相談しにくいと感じている傾向が読み取れる。働き方改革の推進とバランスを取りながら保護者との距離を少しでも縮める工夫・改善が必要。 ・地域人材を活用したキャリア教育が充実してきた。校山園や岩尾城跡、来年度から使用が可能になる総合運動公園など、隣接する地域資源を活用した取組も推進できれば。
--

4 次年度の改善の方向性

<p>引き続き「和田に誇りを持ち、自立して未来を創る和田っ子の育成」を教育目標とし、①次世代を生き抜く学力の育成、②豊かな心の育成、③健やかな体の育成、④地域とともにある学校づくり、⑤働き方改革の推進を柱に取り組む。</p> <p style="text-align: center;">令和7年3月14日</p> <p style="text-align: center;">学校名 丹波市立和田小学校 校長名 三原 智雄</p>
--